

## 令和 2 年度広島県大学図書館協議会事業報告

### 1. 会議

1. 令和 2 年度総会  
日時：7 月 7 日（火）～7 月 14 日（火）  
方法：書面審議およびオンライン投票
2. 幹事館連絡会議  
日時：6 月 29 日（月）～7 月 3 日（金）  
方法：書面審議
3. 研修企画委員会  
第 1 回  
日時：6 月 22 日（火）16:00～17:00  
方法：オンライン会議  
第 2 回  
日時：7 月 27 日（月）14:00～15:00  
方法：オンライン会議
4. 共同リポジトリ委員会  
日時：3 月 2 日（金）14:00～15:40  
方法：オンライン会議

※ 広島県内連絡協議会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

### 2. 研修会

- 第 1 回  
日時：令和 2 年 10 月 22 日（木） 13:30～17:00  
開催方法：オンライン  
テーマ：「新型コロナウイルス対策と新たな図書館サービス」
- 第 2 回  
日時：令和 3 年 2 月 18 日（木）13:30～15:30  
開催方法：オンライン  
テーマ：「大学図書館における電子書籍の導入・活用」

### 3. 事業

1. 協議会ホームページの運用  
総会議事録、研修会報告、ビブリオバトル結果。
2. 共同リポジトリ（HARP）の運用  
参加機関数 16 機関
3. 「ひとめでわかる広島県大学図書館協議会（通称：ひとめマップ）」の作成  
4 月更新照会后、5 月作成。

※ 広島県大学図書館協議会ウェブサイトには、新型コロナウイルスによる臨時閉館への影響を考慮して未掲載。

#### 4. 50周年記念事業

広島県大学図書館協議会創立 50 周年を記念して、以下の事業を行った。

- ・記念式典の開催

日時：令和 2 年 11 月 6 日（金）15:00～17:00

会場：メルパルク広島 6 階「瑞雲」

講師：2 名

参加者：39 名

- ・記念誌の作成

50 周年記念誌「つなぎゆく広島県大学図書館協議会：協議会 50 年」

ページ数：131 ページ

印刷：100 部

各加盟館および執筆者に配布

- ・記念品の作成

レザーカバー型 USB メモリの作成（120 個）

各加盟館および記念式典参加者に配布

※ 例年開催しているビブリオバトル広島地区決戦については、全てオンライン開催・予選事務局主催となったため、2020 年は開催せず。

## 令和 2 年度広島県大学図書館協議会総会議事要録

日程：令和 2 年 7 月 7 日（火）～7 月 14 日（火）

開催方法：新型コロナウイルス感染症対策のため、書面審議とオンライン投票で実施。

例年口頭で行っていた資料説明も書面（総会資料補足説明）で実施した。

参加：加盟館 25 機関

### 議 事

#### 1. 報告

(1) 令和元年度事業報告について

事務局から書面にて、以下の報告があった。

令和元年度広島県大学図書館協議会事業報告（資料 1）、令和元年度広島県大学図書館協議会総会議事要録（資料 2）

(2) 令和元年度研修企画委員会の活動報告について

研修企画委員長の広島文教大学 石井事務長から書面にて、令和元年度研修企画委員会活動報告（資料 3）の通り報告があった。

(3) 令和元年度共同リポジトリ委員会の活動報告について

事務局から書面にて、令和元年度共同リポジトリ委員会活動報告（資料 4）の通り報告があった。

(4) 令和元年度広島県内図書館連絡会議について

事務局から書面にて、広島県内図書館連絡会令和元年度会議議事要録（資料 5）の通り報告があった。

#### 2. 各館活動報告(各館)

各参加機関の代表から書面にて、承合事項 令和元年度の図書館活動について（資料 6）の通り報告があった。

#### 3. 協議

(1) 令和元年度決算書（案）及び監査報告について

事務局から書面にて、令和元年度の決算（案）（資料 7）および監査館の日本赤十字広島看護大学の監査報告書（資料 8）が提示された。原案どおり承認した。

(2) 令和元年度事業計画(案)について

事務局から書面にて、令和 2 年度広島県大学図書館協議会事業計画(案)（資料 9）の通り提案があり、原案どおり承認した。

(3) ビブリオバトル広島地区予選・決戦開催（案）について

事務局から書面にて、ビブリオバトル広島地区予選・決戦開催（案）（資料 10）の

通り提案があり、原案どおり承認した。

(4) 広島県大学図書館協議会創立 50 周年記念事業 (案) について

事務局から書面にて、広島県大学図書館協議会創立 50 周年記念事業 (案) (資料 11) の通り提案があり、原案どおり承認した。

(5) 令和 2 年度予算書(案)について

事務局から書面にて、令和 2 年度予算書(案) (資料 12) の通り提案があり、原案どおり承認した。

(6) 令和 2 年度役員館・委員館の選出について

事務局から書面にて、役員館・委員館の選出について会則及び資料 13 に基づき提案・オンライン投票依頼があり、以下のとおり選出した。

(6-1) 幹事館の選出

幹事館は任期 2 年で今年度改選。(会則第 8 条) 例年総会当日に全参加館の投票によって選出されるが、今年度は書面審議のため、事務局作成のフォームによりオンライン投票を実施した。投票の結果、幹事館は(広島大学、県立広島大学、広島経済大学、広島修道大学、安田女子大学、呉工業高等専門学校)が選出された。代表幹事館は幹事館決定後、新幹事館によるオンライン投票により、広島大学が再任された。(会則第 7 条 2 項)

(6-2) 幹事館以外の役員館・委員館の選出

- ・ 監査館は、輪番で比治山大学(広島県大学図書館協議会申合わせ事項の 3)。
- ・ 研修企画委員館は、任期 2 年で今年度改選(研修企画委員会内規の 6)。役員会の推薦により、広島大学、広島経済大学、広島修道大学、比治山大学、広島文化学園大学、広島文教大学、広島商船高等専門学校を選出し、原案通り承認した。委員長館は広島文教大学を互選で選出した(研修企画委員会内規の 4)。
- ・ 共同リポジトリ委員館は、任期 2 年で改選無し。
- ・ 広島県内図書館連絡会議委員館は、事務局の推薦により比治山大学、広島市立大学、広島大学が選出され、原案通り承認した(広島県内図書館連絡会設置要項第 4 条)。

(7) 次期当番館について

事務局から総会会場順次表・研修実施会場年次票(資料 14)の通り、今年度書面審議に変更となり会場館なしとなったことから、繰り越しで令和元年度の当番館の広島商船高等専門学校とすると提案があり、原案通り承認した。

(8) 次年度以降の開催持ち回りについて(案)

(7)に関連して、広島商船高等専門学校より書面にて、次年度以降の開催持ち回りについて(案)(資料 15)の通り協議依頼があり、原案通り承認した。

#### 4. 承合事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止における大学図書館の対応状況  
(福山大学, 広島商船高等専門学校提出・資料 16・17)

各参加機関の代表から書面にて, 資料 17 の通り報告があった。

#### 総会資料

|   |       |
|---|-------|
| 令和元年度広島県大学図書館協議会事業報告                      | 資料 1  |
| 令和元年度広島県大学図書館協議会総会議事要録                    | 資料 2  |
| 令和元年度研修企画委員会活動報告                          | 資料 3  |
| 令和元年度共同リポジトリ委員会活動報告                       | 資料 4  |
| 広島県内図書館連絡会令和元年度会議議事要録                     | 資料 5  |
| 承合事項 令和元年度の図書館活動について                      | 資料 6  |
| 広島県大学図書館協議会令和元年度決算書 (案)                   | 資料 7  |
| 監査報告書                                     | 資料 8  |
| 令和 2 年度広島県大学図書館協議会事業計画 (案)                | 資料 9  |
| ビブリオバトル広島地区予選・決戦開催 (案)                    | 資料 10 |
| 広島県大学図書館協議会創立 50 周年記念事業 (案)               | 資料 11 |
| 広島県大学図書館協議会令和 2 年度予算書 (案)                 | 資料 12 |
| 広島県大学図書館協議会役員館等一覧                         | 資料 13 |
| 総会会場順次表・研修実施会場年次表                         | 資料 14 |
| 次年度以降の開催持ち回りについて (案)                      | 資料 15 |
| 承合事項 提案理由                                 | 資料 16 |
| 承合事項 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止における大学図書館<br>の対応状況 | 資料 17 |
| 会則・申合わせ                                   |       |
| 広島県大学図書館協議会加盟館一覧                          |       |

別紙 総会資料補足説明

以 上

## 令和2（2020）年度広島県大学図書館協議会研修企画委員会活動報告

### 1. 研修会

#### 第1回

日 時：令和2年10月22日（木） 13：30～17：00

開催方法：オンライン

テ ー マ：「新型コロナウイルス対策と新たな図書館サービス」

事例報告：「新型コロナウイルス感染防止対策について」

報 告 者：岡田 匠亮氏（尾道市立大学附属図書館）

事例報告：「新型コロナウイルスにかかる当館の対応事例報告」

報 告 者：稲角 祐子氏（広島市立大学附属図書館）

グループワーク：セッション1「施設やオンラインサービスの整備」

セッション2「利用者サービス」

参 加：18機関29名

アンケート結果

<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/haul/wp-content/uploads/2020/12/0201quest.pdf>

#### 第2回

日 時：令和3年2月18日（木）13:30～15:30

開催方法：オンライン

テ ー マ：「大学図書館における電子書籍の導入・活用」

発 表：「紙の本を買うか、電子書籍を買うか？-加盟館のアンケートを参考に-」

発 表 者：上田 大輔氏（広島大学図書館）

グループディスカッション：「電子書籍の導入・活用について」

参 加：20機関36名

アンケート結果

<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/haul/wp-content/uploads/2021/03/0202quest.pdf>

### 2. 評価と課題

#### 第1回

新型コロナウイルスの影響下において利用者が大学に入構できない中、各図書館が大学の活動指針に基づき感染症防止に配慮しながらも利用者に対しておこなってきたサービスについて尾道市立大学附属図書館の岡田氏と広島市立大学附属図書館の稲角氏に事例を報告いただいた。その後、グループに分かれて施設やオンラインサービスの整備、利用者サービスについて意見交換を行い、今後の図書館サービスの可能性や方向性について情報共有を行った。

アンケートの回答を見ると、全体的に時間もちょうどよく、内容も「非常に有意義であった」「有意義であった」が9割以上であり、好評であった。感想を見ると、各大学の取り組みについての情報共有ができ、今後の図書館サービスを考えるヒントを得られたことがわかる。この結果から研修会の目的はある程度達成できたと思われる。

問題点としては、グループワークのテーマ分けが漠然としており、話しにくかった点が挙げられる。今後はテーマを明確にするなど設定する際に工夫をしたい。

## 第2回

近年、国内外の出版社から電子書籍での出版も増加しつつあり、大学図書館における電子書籍の提供が広がっており、新型コロナウイルス下で自宅等の学外からでも利用可能な電子書籍の有用性が注目された。一方で、導入や活用には様々な疑問や課題がある電子書籍について、各加盟館へ実施したアンケート結果も踏まえ、電子書籍の導入や活用についての意見交換をし、情報共有を図った。

全体的に時間もちょうどよく、内容も「非常に有意義であった」「有意義であった」が9割以上であり、好評であった。アンケート回答を見ると、電子書籍への理解が深まるとともに、利用促進やプラットフォームの利便性など具体的な課題に気づいたとあり、課題発見のきっかけになったことがわかる。また、各大学の導入状況や利用実績、課題を共有したことで、未導入館では導入するかどうか、導入館では課題をどのように解決していくかを検討する材料を得られたと思われる。

今回の研修会では、導入状況や規模が同じような大学間での情報共有を図ることを目的としたため、他グループの話し合い結果の共有を行わなかったが、一歩進んだ研修会とするために、今後はオンライン上での情報共有の方法を検討したい。

## オンライン開催について

今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から初めてオンライン形式で開催を行った。当初は通信・機器トラブルや研修参加者のZOOM操作について不安があったが、通信・機器トラブルもなく、参加者の操作も問題なくスムーズな進行ができた。

オンライン開催では集合形式とは異なり、参加者の交流や質疑応答、グループワークでの意見交換がしにくいという問題点もあげられたが、気象状況の影響や場所の制約もなく、出張先までの移動時間がかからないという利点もあり、各館から複数人参加することも可能であった。この度オンラインで研修会を開催したことで、オンラインで実施するためのノウハウや利欠点、参加者からの貴重な意見を得られた。今後は、テーマや研修会の内容によっては、オンラインでの開催も視野に研修会について幅広く検討していきたい。

## 令和 2 年度共同リポジトリ委員会活動報告

### 第 1 回委員会・勉強会

日 時 令和 3 年 3 月 2 日（金）14 時 00 分～15 時 40 分  
場 所 オンライン会議  
出席者 15 大学 18 名参加（拡大委員会とし、HARP 参加館が出席）

### 議事

#### 1. 報告・協議

##### (1) 自己紹介と各館のリポジトリに関する近況紹介

出席者は、自己紹介と各館のリポジトリに関する近況紹介を行った。

##### (2) 令和 2 年度執行状況及び令和 3 年度予算（案）について

広島大学 上田より、資料 1・2 に基づき、共同リポジトリ事業費について、令和 2 年度執行状況の報告及び令和 3 年度予算について提案があり、案のとおり了承された。

##### (3) 令和 3 年度共同リポジトリ委員会委員館について

広島大学 上田より、資料 3 に基づき、現在の委員館の任期が令和 2 年度末までであるため、令和 3 年度委員館及び委員長館について現在の各館の意向を確認した。

その結果、現委員館の継続及び委員長館として広島都市学園大学を候補とすることが確認された。

#### 2. 勉強会

開催要項に基づき、勉強会が行われた。内容は以下のとおりである。

##### ・ 機関リポジトリと HARP の基礎（広島大学 山根）

機関リポジトリと HARP の基礎、及び電子ジャーナルとオープンアクセス（電子ジャーナル契約の変化がオープンアクセスや機関リポジトリに及ぼす影響など）について説明があった。

<参考>

我が国の学術情報流通における課題への対応について（審議まとめ）

科学技術・学術審議会情報委員会ジャーナル問題検討部会（令和 3 年 2 月 1 2 日）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu29/001/mext\\_00650.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu29/001/mext_00650.html)